

名古屋城天守閣整備事業について

観光文化交流局 名古屋城総合事務所

当事者参画の場の進め方

進め方（想定）

※下記のスケジュールは現時点での目安であり
今後の検討状況により変更することがあります

区分	令和7年度	令和8年度			
	2月	5月	8月	11月	2月
当事者参画の場	●	●	個別ヒアリング	●	●
説明内容	復元の考え方				
	大型エレベーター	○大型エレベーター及び垂直昇降設備の情報をお示しし、 全体像を把握していただきながらご意見をいただく ○議論の状況に応じ、継続して対話していく			
	垂直昇降設備 仕様	垂直昇降設備 総合的検討状況	継続検討	設置範囲素案 (時期未定)	
天守全体の バリアフリー			個別ヒアリングの実施	整備内容 考え方	〔スロープ、手すり、 音声情報、触知模型等〕

バリアフリー方針のとりまとめ

天守全体のバリアフリーについて

○経緯

令和7年11月

当事者参画の場において

「**主な検討事項**」（右欄）として一例を提示

令和8年2月

当事者参画の場において、今後の進め方の中で8月以降に**天守全体のバリアフリーを議題とする旨を説明**

令和8年5月

当事者参画の場において**天守全体のバリアフリーについて多数の意見**

○主な検討事項（11月の当事者参画の場の資料）

- スロープ、手すり、物見台
- 垂直昇降設備（配慮した仕様、設置階）の設置及び運用（各階に専用スタッフ配置）
- 音声情報、点字等による利用案内
- 触知模型
- 文字情報、垂直昇降設備の扉の窓
- カームダウンスペース
- 危険防止装置、ベビーケアスペース
- 運用体制（スタッフ配置、通常時・非常時のオペレーション等）
- 緊急時用物品（AED、ポータブル簡易トイレ等）
- ベンチ等の休憩設備
- 案内サイン

○天守全体のバリアフリーについての主な意見

- ・ 通路への手すりの設置や階段の滑りにくい仕上げなどの要望や防災計画策定時の当事者参画の必要性
- ・ 車いす利用の方が入館される際の備え付け車いすへの移乗の難しさ
- ・ 首がすわる前の乳児へのベビーキャリーの困難性
- ・ 天守入場時の靴を脱ぐルールについて、義足や靴型の装具利用の方がいることを指摘
- ・ 聴覚障害者等への配慮のある避難システムにする必要性

ヒアリングの実施について

○当事者参画の場での意見を受けて

- ・ 高齢者、障害者をはじめとした当事者の皆様の意見等を十分に踏まえたうえで、天守全体のバリアフリーの内容を検討する



当事者の方々の意見を詳細にお伺いするため、
8月の開催に代え個別ヒアリングを実施



ヒアリングの結果について、次回の当事者参画の場で報告